

長期摂食障害患者の安静時エネルギー消費量の変化に関する研究

当院では、実施承認後～2029年3月31日にかけて、以下の研究を行います。なお、本研究は大阪大学医学部附属病院の観察研究倫理審査委員会の承認を受けています。

研究概要

当院栄養サポートチーム（NST）では、入院中栄養不良が疑われる患者さんを対象に毎週木曜日に NST 回診を行い、主科の先生と相談しながら適切な栄養管理を目指しております。

その中で、診療の一環として間接熱量計と呼ばれる機械で患者さんの安静時の代謝量（エネルギーの消費量）の測定を行い、適切な投与熱量を算出しています。入院後、栄養補給による治療に伴い、体重が増加し、様々な代謝が改善してくると考えられますが、安静時代謝量がどの程度の期間でどの程度上昇するかは明らかになっていません。治療の各時点における安静時代謝量を把握することは、様々な代謝上の合併症予防と適切な体重管理に重要であり、本研究では長期摂食障害患者さんの適切な栄養治療のための資料を得ることを目的としております。

研究参加施設

大阪大学医学部附属病院

研究の開示

本研究の結果は、個人が特定できない形式で学術会議や学術雑誌において公表する予定です。なお、本研究の成果は本研究に登録された患者さんには属しません。

倫理的配慮、個人情報の取り扱いについて

本研究は厚生労働省「疫学研究に関する倫理方針」を遵守しています。本研究では、NST 回診の対象となった患者さんに関して、カルテに記載された内容のみを対象としてデータ解析いたします。したがって、本研究のために新たな検査、治療法が追加されることはありません。また、データは匿名化することで個人情報は消去いたします。

通常の診療で得られた過去の内容のみを使用する研究ですので、患者さん一人ずつの直接の同意はいただかずに、この掲示などによる患者さんへのお知らせをもって実施されます。患者さんにおかれましては、研究の主旨をご理解頂き、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

万が一、この研究への参加を希望されない場合、途中から参加取りやめを希望される場合には下記の大阪大学医学部附属病院の連絡先にご連絡ください。

また、研究に対してご質問は、下記の大阪大学医学部附属病院の連絡先にご連絡ください。

本研究に関する連絡先

大阪大学医学部附属病院 栄養マネジメント部

森田 隆介

Tel : 06-6879-5282

研究機関名/責任者

大阪大学医学部附属病院 栄養マネジメント部

(研究責任者：中畠 賢吾 大阪大学医学部附属病院 栄養マネジメント部)